



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

## あったかウェルねっとニュース 第21号

2016年3月30日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

2011年3月11日の東日本大震災より5年が過ぎました。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あったかウェルねっとの「ウェル (WELL)」は、Welfare (福祉)、Well-Being (幸福) の Well (大切にという意味) で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

### あいさつ

#### 県外に飛び出して“福祉の種まき”

あったかウェルねっと副代表 吉田より子  
(嵐山町・第5期推進員)

昨今の家族・親子関係、そして、子供たちの社会において、耳をふさぎたくなるような、あまりにも悲しいニュースが毎日のように報道されています。そのたびに、やはり、「福祉教育」の大切さを実感しています。

地元埼玉県内での福祉教育推進員の活動が10年過ぎた頃から感じていた、郷里の子供たちにも、「福祉教育」の大切さを是非伝えられたらな一との思いが叶い、昨年(2015年)10月に郷里の平泉町の小学校2校の四年生に、「福祉」の種まきをしてきました。

授業では、「人間は一人では生きてゆけない。」生きていくには人との関わりが大事。「助けて!」と言える勇気を持って、たくましく柔軟な心で、自分を大切に自分らしく生きていってほしい、と伝えてきました。

私は、目が見えなくなってからの日常生活を通して、生きることの大変さと素晴らしさを、ことあるごとに実感してきました。そして、人と関わって、ふれあって、つながることで「生きる力」をもらっています。ここに、「ふくし」=ふだん

のくらしのしあわせがあると思うのです。

卒業間近の中学三年生、そして、大学生の授業に入らせて頂いた時の感想に、『これほどに、普段の暮らしの幸せについて考えさせられたのは初めて、自分に何ができるか考えていきたい。』

福祉教育推進員の活動は、私の生きる力になっています。

### お知らせ

**総会** 及び **福祉セミナー** を開催します!

～講師は原田正樹先生～  
**15年目の取り組みに注目!**

#### 平成28年度 総会

開催日:平成28年5月8日(日)

受付:9時15分から

開始:9時30分 議事終了:10時30分

会場:彩の国すこやかプラザ 2F セミナー室

(JR 京浜東北線与野駅 西口 徒歩 10分)

対象者:1期から11期推進員および賛助会員

年会費:正会員(推進員が対象)1,000円

賛助会員(推進員以外の方)年1口:500円

どちらも事前の  
申し込みを  
お願いします!

#### 15周年事業 あったか福祉交流セミナー2016

あったか福祉交流セミナー2016

「18歳とふくし」

～未来への種まき、若者力を育てよう～

**県社協との共催事業です!**

開催日:平成28年5月8日(日)

受付:10時30分から

時間:11時から15時50分

- 11時~11時30分 開会・あいさつ
- 11時30分~12時 参加者ブース紹介(アピール)
- 12時~13時 昼食・交流(ブース訪問)
- 13時~14時 講演「18歳とふくし」原田正樹氏
- 14時~15時45分 グループワーク
- 15時50分 閉会

場所:彩の国すこやかプラザ 2F セミナーホール

内容:講演・ワークショップ・情報交換

ブース・展示コーナー

目的:これまでの15年間で県社協と協働して培った「福祉文化」ですが、次の5年間は、「若者の福祉文化」の醸成をめざします。

この学習会は、地域で幸せに暮らすには何が必要かを学び、様々な立場の人たちが出会って地域とのつながりについても学びあい、「豊かな心」「共に生きる力」を育み、みんなで「ふくしの輪」を広げていけるよう開催します。

講演:「18歳とふくし」

講師:原田正樹氏(日本福祉大学教授)

あったかウエルねっと設立よりご助言ご指導くださった原田正樹先生の講演です。社会福祉問題を解決する実践力を培って「自立と共生の福祉社会」「福祉のまち」「ノーマライゼーションの具現化」を目指していけるよう学び合ひましょう。

対象:福祉に関心のある人

参加費:大人1000円

学生500円

(軽食、資料代を含みます。)

どなたでも参加できます。

お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

申込先:ねっと事務局 須田 049-283-1865(FAX)

メールアドレス masako@niconico39.net

準備の都合上、事前の申し込みをお願いします!

## 受賞報告

### 「埼玉・教育ふれあい賞」受賞

埼玉県社会福祉協議会よりご推薦いただき、埼玉県・県教育委員会「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞しました。平成27年10月31日(土)、さい

たま共済会館6階大ホールにて42団体が表彰され、あったかウエルねっとは「学校・家庭・地域との連携(共に生きる力を育む福祉教育の推進)」部門での受賞でした。ご推薦くださった県社協のみなさまにお礼を申し上げるとともに、あったかウエルねっと活動15年目という節目の年に、14年間の取り組みを振り返る良い機会ともなり、嬉しい受賞となりました。活動を支えてくださった会員のみなさま、ご支援いただいたみなさま、ありがとうございました。

右)10/31表彰式にて



左)11/9受賞のミニ報告会&交流会



## 報告いろいろ

まなびばしゃべりばカフェ 第7回

秋カフェ報告

ま・な・び・ば~みんなで考えよう!

—福祉教育プログラム—

平成27年9月20日(日)、埼玉県男女共同参画推進センターWith You さいたま(さいたま新都心駅近く)セミナー室で、秋カフェをおこないました。

(参加者25名)

参加者は、話題提供者の山本美念子さん(草加市・第6期推進員)に



による「聞こえる世界と聞こえない世界の橋渡し」で、小学校の福祉授業を模擬体験しました。その後、4グループに分かれて福祉教育プログラムを考えるワークショップ。

伝えたい事はどんなこと?実施方法や起承転結で気をつける事は?プログラム作りで大事にして

いる事はなあに？…等々、学校や地域で展開する福祉教育プログラムのヒントを考え合いました。そして、



- ・ノーマライゼーション(障害の枠をこえた理解)
- ・誰にでもある、得意・不得意
- ・共に暮らすために大切なこと

等のプログラム名が挙がり、目的には「地域にさまざまな障害を持った人が生活しているのを知ってほしい」「地域ぐるみで『いろんなタイプの人がいるんだよ』という事を考えていく」等があげられました。

いたまフェスティバル」は52団体が参加し、女性の活躍、子育て、福祉、環境など、暮らしの身近なテーマについて、講演、報告、劇、展示など様々な形での発表がありました。

あったかウエルねっとは、埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)4階の展示コーナーで、「福祉の種まき」をテーマにパネル展示をし、福祉教育に関心を持つ方たちや、他団体と交流・情報交換をしました。会員・賛助会員も訪れて、交流も深めました。



### 昨年続き、人事院研修で講師を

木野登紀子(毛呂山町・第2期推進員)  
高橋キミ子(坂戸市・第3期推進員)  
須田 正子(坂戸市・第3期推進員)

11月27日(金)、人事院関東地区中堅係員研修で、県社協地域活動支援課 森田課長の講義「障害者福祉について～相手の視点に立って考える～」に続いて、当事者の講話・疑似体験等を担当しました。昨年度に続き、坂戸市の障害者支援ボランティア「あしたば」、視覚障害者と仲間の会「いどばた」にご協力いただき、車いす・アイマスクをはじめとした体験プログラムやグループワークをおこないました。

「疑似体験することで、相手の立場になって物事を考える力を付けることができ非常に有益だった。」「様々な立場の目線で物事を見ることの重要性を再認識することができた。」「車いすやアイマスク等普段と違う状況を体験することで、人による状況の違いや感じ方の違いについて改めて考えることができた。」などの意見が寄せられました。

### With You さいたまフェスティバルに参加 ブース展示と交流

2月6日(土)、7日(日)、「第14回With You さ

### 千葉県柏市 いきいきプラザで 福祉教育講座の講師をしました。

坂本晃一(大田区立小学校教諭  
元県社協職員・第3期推進員)

2月22日(土)、柏市心身障害者福祉連絡協議会と柏市社協ボランティアの講座で講師をつとめました。「現場で使える！福祉教育講座～子どもへの障害理解教育を中心に」という内容で、午前の部は基本編、午後の部は実践編とし、それぞれに学びを深めました。(受講者約30名)

#### 【午前の部：基本編】

- ・福祉教育とは
- ・福祉教育のねらいを考えよう  
体験ワーク「聞こえない中でバースデーチェーンを作ろう」
- ・福祉観を見つめてみよう  
体験ワーク「輪ゴムを使った紙コップ積み上げゲーム」

#### 【午後の部：実践編】

- ・相互実践報告会  
坂本実践(小学校の現場から)柏障連の実践
- ・共生社会を考えるプログラムを体験しよう  
体験ワーク「誰もが仲良く楽しめるフルーツバスケットをしよう」
- ・障がい理解プログラムを企画しよう

小学校教諭としての経験も活かし、上記のようにプログラム展開をしました。テーマに沿った体験ワークが好評でした。

## 県社協からの情報

あったかウエルねっとの取組みにおかれましては今年度15周年を迎えられ、長期にわたり福祉教育の推進にご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。5月8日に開催されます15周年事業ではねっとの皆様と一緒に県社協も共催として準備を進めて参りますので多くの皆様のご参加をお願いいたします。

平成28年度の県社協は、昨年度に引き続き「共生・共助つながりづくり」を推進するために、各種事業を展開していきます。

子どもたち向けには、今年度で3年目を迎える「小中学生作文コンクール」や「ヤングボランティア交流事業」、「小学校への福祉図書等の貸し出し」、福祉施設の社会貢献と子どもたちの福祉教育を推進する「福祉の心を育む交流事業」などを通じて福祉マインドの醸成やボランティア活動の推進を行っていきます。

大人向けには、退職後のライフプランとして地域活動を提案していくための出前講座や地域活動を新しく始めたい方向けの生活支援サービス立上支援事業を実施し、共に暮らしていく地域づくりを行います。

さらに、新規事業として、「福祉教育プログラム作成事業」として、学校・地域・社協が一体となって取り組める内容を検討し、時代に即した福祉教育を展開していきます。

推進員の皆様には、引き続き各地域において福祉教育の推進にご支援ご協力をいただくとともに、社協事業への積極的なご参加をよろしく申し上げます。

## ねっと事務局より

### 次回の「まなびばしゃべりば」のお知らせ

6月頃の開催を予定しています。詳細が決まり

ましたら、メーリングリストやホームページでお知らせします。

詳細はHPで！【あったかウエルねっと】で検索！

<http://www.geocities.jp/attakal7/>

### 実践集の原稿を募集しています

15年の足跡として、実践プログラム集の作成を目指し、会員みなさまの実際のプログラムを募集しています。(事務局・須田まで)

### 情報はメーリングリストで！

会員・賛助会員でメールアドレス(携帯も可)をお持ちの場合、メーリングリストの登録ができます。希望する方は事務局までお知らせください。

ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス: masako@niconico39.net

### 会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費(年1000円)で運営しています。みなさまのご協力をお願いします。

振込先: 埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・

普通預金口座番号: 5015782

名義: 彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

### 編集後記

15年の節目の年からは、特に「子どもの福祉教育」「若者の福祉・福祉教育」に目を向けたいと、県社協はじめ専門分野からの助言支援をいただきながらワーキングチーム等々準備中です。『未来への種まき』に、みなさまのご理解ご協力をお願いいたします。

発行: 彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク  
(通称: あったかウエルねっと)

編集: あったかウエルねっと (情報担当)

連絡先: 埼玉県社会福祉協議会 地域活動支援課

TEL: 048-822-1435 FAX: 048-822-3078

Mail: vc@fukushi-saitama.or.jp